

研究協力のお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

急性期脳血管患者における離床管理と関連要素の検討
1. 研究の対象および研究対象期間 2022年4月1日から2024年3月31日に昭和大学江東豊洲病院脳神経内科・脳神経外科でリハビリを行った患者さん
2. 研究目的・方法 脳血管疾患は高齢の方に発症することが多い疾患であり、初発では65歳以上が全体の9割を占めるとされています。一方で我が国では65歳以上の5.4人に1人が認知症と言われており、両疾患の好発年齢は重なっています。また、脳血管疾患の症状としても脳血管性認知症を引き起こす事例もあります。 心身機能への障害が生じる脳血管疾患の入院生活では、患者さん自身の安全性確保の為にベッドにセンサーを付けお1人で離床された際にすぐに対応できるようにしていますが、設置・撤去に対し患者さんの心身機能の回復に携わるリハビリの視点として基準を設けたり傾向をまとめることができればよいと考えました。また、急性期病院からの帰結先との関連性を見出せればと考えます。 今回、当院に一定期間の間入院されていた患者さんのデータを個人情報に配慮した中で収集し、統計解析を行い、それぞれの項目に関連性があるのかを調査します。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2025年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 カルテより、以下の情報を収集します。 年齢、性別、疾患名、合併症、既往歴、在院日数、NIHSS、ADL(BI)、MMSE、転倒転落のリスクアセスメントスコアシート、離床センサーの有無、帰結先

5 . 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6 . 研究組織

研究責任者 昭和大学江東豊洲病院 氏名 宮田剛成
研究分担者 昭和大学保健医療学部作業療法学科 氏名 青木啓一郎
研究分担者 昭和大学保健医療学部作業療法学科 氏名 渡邊真理奈
研究分担者 昭和大学江東豊洲病院 氏名 関雅良

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院 氏名：宮田剛成

住所：東京都江東区豊洲 5-1-38 電話番号：03-6204-6330